

姥ヶ山自治会報

第 78 号

発 行 者
姥ヶ山自治会
吉岡富三雄

印 刷
新潟マイクロコンピュータ株

平成二十九年九月三十日現在

姥ヶ山自治会動向

世帯数 一、四二〇戸
班 数 一二〇班

平成二十九年年度の 自治会活動を振り返って

姥ヶ山自治会 会長 吉岡富三雄

平成二十九年年度は間もなく終えようとしています。ここで今年一年を振り返ってみたいと思います。

今年度は昨年、新役員になられた方も二年目を迎えて自治会活動の概要が解りはじめ、自主的な判断で活動が出来た一年だったと感じています。

ところで昨年の此の会報では一年間の殆どの事業・行事について振り返り、参加出来なかった会員の皆様に概要を紹介し知って頂きましたが、今回は例年と比べて変化のあった幾つかの活動について取り上げて紹介致します。

なお年間の事業及び行事については例年通り年度末に執行部で立案し、総会の承認を得て実施していますが、二十九年年度のその内容は前年度のものを踏襲するものとなりました。

先ず毎月開催しています「定例執行部役員会」の冒頭で私が行っている各種報告事項では情報開示による共有化を図るため、口頭だけではなく紙面で表して報告を行って来ました。このことはその後のブロック役員会(別名、班長会議)に於いて運用され、情報共有の拡大化が得られた様に思います。

次に子ども達の夏休みに合わせて毎年開催しています「ラジオ体操」は、健康志向の表れか? 例年よりも多くの一般社会人の会員の皆様から参加を頂きました。早朝六時三十分のNHKラジオ

第一放送に合わせて行うラジオ体操は、早起きの方々には丁度良い目覚めの運動の様でした。

また新年恒例の伝統行事である「さいの神」について、その準備作業を今年度も十一月に行いましたが、前年度と比べて十名程少ない作業者だったにも拘らず早目に終える事が出来ました。

これは作業の見直しと要員配置の適正化及び担当者の熟練による効率化が図られた結果だと思えます。そこで、今後、取り分けプロジェクト行事としての「夏祭り」及び「さいの神」については、熟練者の継承が不可欠であり、世代交代を視野に入れた要員の配置を考慮していかなければならないと考えています。

一方、各専門部長の手腕による事業内容の変革については「町民大運動会」や「防災訓練」にそれを見る事が出来ました。何時も同じ事をやっても参加される方々に飽きられるばかりか、企画する部長もマンネリ化してしまします。ただやつて終りの事業・行事ではなく、終えたら反省して紙ベースで残して次の催行に反省点を反映させている「事業実施報告書」が定着し、良い習慣となり良い結果が出ています。

最後に今年度再度立ち上げた「会館建設委員会」は会員主導の会議として各ブロックから2名ずつ選出して頂き、既に5回の会合を開催し新たな概要が見えて来ました。

総会での建設業者選定方法に承認が得られ業者が決定すれば建設費が確定し、資金繰りと共に建設年度の予定が見えて来ます。



現在の自治会館全景



ラジオ体操

姥ヶ山祭りを振り返って

姥ヶ山祭り実行委員長 阿部博一

平成二十九年の姥ヶ山祭りは八月二十六日(土)・二十七日(日)に行われました。

昨年は雨がひどく、予定より早く終わることになった二十六日(土)の盆踊り大会は今回、天候に恵まれ多くの人達により盆踊りの輪が広がりました。

屋台では人が並び、神社には参拝の人がいたり、いつもの賑やかな祭りの風景を見ることができました。また、二十七日の子どもみこしでは、日曜日ということもあり、例年以上の参加者で賑わいました。

姥ヶ山祭りは諏訪社の祭りに併せて行っていることが大きな特長となっています。中でも二日間共に行われる宮上りは笛、太鼓、ほら貝の音とともに宮司を先頭にして行列が肅々と進む様子は村祭りとしての郷愁をそそるようで、多くのカメラマンが熱心にシャッターをきっていました。

また、二十七日の太々神樂の大黒舞ではその時間になると沢山の人が集まり、多くのお供え物撤きを楽しんでいました。

いずれにしても、祭りをを行うに当たり、会場の設営から協賛金集め、さらに当日の警備等多くの地域の人の支えを頂きました。この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。



盆踊り



太々神樂



子どもみこし



宮上り

さいの神

実行委員長 小熊由紀夫

今年度の「さいの神」は、十一月十九日の準備作業から始まりました。

孟宗竹の切り出し、葎を刈り集めて適当な束にして縛る、稲わらを使つてのとは作り、スルメを吊るすために細竹を切つて整えるなどの作業です。

当日は、昼頃からこの時期としては早過ぎる雪になりましたが、皆さんの協力で作業がスムーズに行われ、天候が崩れる前に終わる事ができました。

一月十四日の「さいの神」当日前迄には記録的な大雪となり、どうなる事かと思われましたが、桜井政雄氏による除雪により開催できました。

本番は、この時期としては珍しいほどの好天に恵まれ、たいしたきつい思いをする事もなく、さいの神を作る事が出来ました。

毎回思う事です、姥ヶ山自治会の「さいの神プロジェクト」は大掛かりな作業で、大勢の人達の力が必要です。

自治会員以外でも、小学校、中学校などの協力で行われます。これが地域の交流、コミュニケーションの場になつていけば、嬉しい事です。

何かと至らない実行委員長でしたが無事行事を終える事が出来ました。ご指導、ご協力して頂いた方々に感謝いたします。



実行委員 60 名が参加



女性部一年をふり返つて

女性部長 高橋ひろみ

いつもご参加・ご協力、ありがとうございます。

ご存知の通り女性部では六月に、「落語」を企画・開催し日曜の午前中老若男女がお腹を抱えて大笑いしました。落語の後には軽く茶話会・時間の許す限り女性陣のにぎやかな話声や笑声を響かせていました。

十二月には、苔玉と寄せ植えの会を催し、各々好きな物をまたは二種類ともしする人がいて用意された花材を思い思いの苔玉と寄せ植えに仕上げて、オンラインワンの作品を嬉しそうに持ち帰りました。

年間を通しては祭りの踊り支援・運動会の手伝い・さいの神での甘酒配り等、女性部員全員が一生懸命努めることが出来ました。人との出会いを喜び、大切に思える自治会活動でした。ありがとうございます。



「落語と茶話会」での様子

環境部の二年間

環境部長 高嶋千明

環境部長に就任してあつという間に二年が経ちました。

この間、今までに無い経験をさせて頂きました。

まず、年二回実施している「クリーン作戦」です。これは、何年も続いている自治会の恒例行事です。以前は、トラックで何台分のゴミがありました、近年確実にゴミの量が減ってきています。しかし、この日に合わせるように粗大ゴミが出されるようになりました。これは確信犯としかいいようがありませんが、逆に関係ない日に出されるよりは良いのではとも思えます。

また、最近では親子で参加される方もおられ、江東園の職員の方も積極的に参加しています。多いときには百名を超える方が参加され、昨年の秋の「クリーン作戦」では、あいにくの雨の中、大勢の方が参加されました。もはや無くてはならない行事になったと思います。準備には各ブロックの環境部員の皆さんに協力してもらいました。

次に防犯灯についてですが、今回環境部長になった事に伴い、防犯灯の位置等を確認するため、吉岡自治会長と共に、一丁目から六丁目まで巡回しました。これにより気付いたことですが、一、三、五、六丁目に比べ四丁目の防犯灯の設置場所に隙間があり、暗い場所がある事に気付きました。

また、今年度は会長の英断もあり、LED電球への交換を進ませてもらいました。

この事を踏まえ、今後はより一層LEDへの交換と防犯灯の新設が必要である事を実感した二年間でした。



進む、LED 防犯灯への交換

雨の中の「秋のクリーン作戦」



「春のクリーン作戦」で集められたゴミ

一年の事業を終えて

衛生部長 小熊由紀夫

自治会員の皆様には、日頃からの活動とご理解、有難うございます。

十月二十二日のクリーン作戦と同時に行ったゴミステーションの点検と、不法投棄の回収で本年度の衛生部の事業は終わりました。

不法投棄での大型ゴミは目立たなくなりましたが、小さなゴミは減る様子がありません。一時期減っていました。また増えてきました。自主的に回収して下さっている方もいらつしやいます。それでも捨てられています。

特に困るのが、農道に捨てられることです。風に飛ばされ畑や田んぼに入っで取れなくなっています。地元以外の人が多いと思いますが、マナーに期待します。

マナーといえばゴミステーションのゴミの出し方にも問題があります。

ゴミステーションをゴミ捨てにしている人は問題外として、新潟市で新ゴミ分別が始まって十年近くたちました。

無くならないのが、無料のプラマーク入りの再生ゴミの中に混じっているプラスチック製品です。指示の徹底が必要だと思っています。

その他に、衛生部主導で下水清掃とアメシロ駆除をやっていますが減っています。少しきつい作業になるようですが、近隣の人との交流の場として、意義があると思います。

後、衛生部員がボーフラ駆除の薬を流れの悪い下水などに撒いています。自宅内でやぶ蚊の発生しそうな場所のある方は、部員に申し出てください。薬剤を差し上げます。

部員の皆さん、この一年間、苦労様でした。

平成二十九年度活動報告

文化育成部長 内山毅重

文化育成部に於ける中心事業の二件について報告致します。

まず、夏休みラジオ体操ですが、七月二十四日から八月十日まで、土曜・日曜を除く十四日間実施しました。

開催場所は桜が丘小学校前庭及び諏訪神社境内にての開催でした。

本年度児童の参加については、若干の増でありましたが、大人の参加が大幅に増えており、姥ヶ山町民の健康増進と相互親睦の一助となっているものと自讃しております。夏休み朝のすがすがしい一刻ラジオ体操でリフレッシュしていただくのも大変良いこととおもっております。

夏休み終盤の実施については、今後検討してまいります。

次に町民大運動会の件ですが、今年は天候にも恵まれ、十月九日(月)桜が丘小学校グラウンドにて開催することができました。本年の参加者は総数三五〇名を超えるものであり、近年では最多の参加者となりました。

競技種目の一部入れ替えを行い、概ね好評でした。

大会終了後、恒例の福引抽選会を開催、好評を博しました。景品につきましては、昨年同様に新潟市農協様より新米の協賛を頂き、大変ありがとうございました。

今後参加者の皆様に楽しんでいただける運動会にしていけたらと思います。最後に、ラジオ体操、町民大運動会の運営にご協力頂いた役員、関係者の皆様に感謝の意を表し、活動報告と致します。二年間ありがとうございました。



町民大運動会

健康講演会

生活安全部長 松原益雄

生活安全部では、毎年、講演会を開催しており、昨年度は防犯講演会でしたが、今年度は二年ぶりの健康講演会を二月十日(土)に開催し、六十名の方にご参加頂きました。

講師には、大越章吾先生(医師・日本歯科大学内科学教授・医科病院長)と定方美恵子先生(看護師/助産師・新潟大学医学部保健学科教授・新潟県看護協会副会長)のお二人をお願いしました。

大越先生は、これで三回目となり今回は、「老化を考える」というテーマで、認知症とフレイルについてご講演頂きました。

定方先生は、姥ヶ山の出身で「キレイに健康に年をとるために」というテーマで、女性ホルモンと更年期、冷え症についてご講演頂きました。

また、質問コーナーでは、講演内容とは無関係な健康上の質問にも、丁寧にご回答頂きました。

両先生とも、配布資料もあって、素人にもわかりやすくお話し頂き、笑いも入って楽しい雰囲気での講演会となりました。



真剣に聞き入る皆さん



質問コーナー



大越章吾先生



定方美恵子先生

総務部の二年間

総務部長 吉岡昭彦

総務の主要な業務は、①情報の収集
②情報の伝達 として、フォローアップ・アクションと考え、総務単独では、結果の出る仕事ではなく自治会本部とブロック間・執行部三役と各部長との調整役の一つとして行動いたしました。

歴代の総務部長の方々は、優秀な人ばかりで、足元には及ばなく、総務を担当したとき何をするべきかと考えたのが、

①防災用ヘルメットが新役員に引き継がれていない。

②自治会館の鍵（物置鍵含む）が正常な担当者へわたっていない
この二点を調査し整備いたしました
が、まだまだ完全とは言えません。

ヘルメット・鍵も、いったんは、総務で回収し完全なる調査整備後に、正常な所有者へ渡すべきで、何事も人任せではダメだったと思っています。

今後新年度の引き継ぎ会議にヘルメット・鍵を持参し引き継ぐ事の徹底が必要かと。

・毎月の業務

①回覧文書の仕分け作業

毎月十五日・末日頃に諸団体より届くので、仕分けし、各ブロックの総務へ。

②執行役員会議前に資料収集し、会議当日の進行。

・都度の業務

①自治会報の発行等

原稿依頼

②祭り・さいの神の事務局等

この二年間、明るく・楽しく・一生懸命でした。ただ、良い結果がでたかどうかは、？です。

第十八回 防災訓練

生活安全部長 松原益雄

九月十日（日）に防災訓練を実施し九十八名の方に参加頂きました。

今回の訓練では、中央消防署および姥ヶ山消防団のご指導で、初期消火・心肺蘇生・被災者搬送訓練と、十年ぶりの濃煙テント体験と、初めての試みとして実際の119番通報時の会話（火災と救急を体験して頂きました。

また、非常食の「アルファ化米」は、試食と共に、一食分のパックを配布して自宅で調理法を体験できるようにしてみました。

防災訓練は、心肺蘇生でのAEDの使い方や初期消火での消火器の使い方等、毎回繰り返し訓練することで習熟する事を目的とする訓練と、体験しておくことで、いざという時にあわてずに行動できる事を目的とする訓練を組み合わせるように企画しています。今後毎年行いますので、多数の方にご参加頂きたいと思います。



濃煙テント体験



心肺蘇生法訓練



被災者搬送訓練



初期消火訓練

窓



時の過ぎゆくのは早いもので、三・一一東日本大震災から早や七年である。今年も各地で様々な災害で大勢の方が犠牲になられた。改めてご冥福をお祈りしたい！

年末年始、わりと穏やかと思っていた矢先、一月十日過ぎからのどか雪、二月末まで氷の世界であった。八十センチ積雪も然ること、ひと月以上に渡り真冬日と言うのも久しぶりであった。皆さんも毎日の除雪に難儀されたのではと思う！

国の管理する国道等と比べ、市の管理する道路除雪の下手さ！特に政令市移行後、県から管理が移った県道等は顕著である！無雪道路とはいわないが、せめてBRT路線並みの除雪を全市行ってもらいたいものだ！

新年度、自治会等の陳情で地域の除雪空白地帯や悪い場所の解消に努めて頂きたい。

国政に目を向けると、もり・かけと蕎麦屋の話かと思ったら、此処へきて新潟出身のスパまで出てきた。まるで麺類の叩き売りのようである。どんな幕引きとなるのか？

この国のオサは幼少のころから、あまり出来が良くないようで、自らを立法院の長と言い放つ。モンテスキュウの法の精神ではないが、未だ三権分立という言葉や意味を理解していないのでは？と不安に思うのは私だけであろうか！



(O.S.M)

編集後記

平成二十九年度の自治会活動行事も、新年度総会に報告する事項を残して、ほとんどが終わりますし、この自治会報発行で一区切りになりました。

各部に於いては、やり残しはなかった事と思いますが。

第一面より会長に始まり、各部長・二実行委員長からは、各部の活動報告・祭り・さいの神の報告を載せていただきました。

皆様、いかがでしょうか。マンネリ化していますか？ 今後に期待してください。

私共の姥ヶ山を、私たちがどうすればより良い姥ヶ山になれるのか？ 自治会世帯数も千四百世帯となり、ブロック制になり十六年が経過しました。

当初は今後世帯数も増加するだろうし「独立できるように」との考えであったと聞いています。この間、各ブロックが独立の勉強をしていたのだろうか？

今後の期待として思っています。

姥ヶ山大好き人間

投稿募集

最近気になること、いい話、川柳など、まじめなご意見から笑えるお話しまで、会員の皆様の原稿を募集しています。発行は、年2回です。詳しくは、各ブロックの総務部までお問い合わせ下さい。